

「ちかすいニュース」バックナンバー

2004～2005年

地下水ニュースは2010年1月より「地下水余話」へ生まれ変わりました。

高さ7 m、無数のつらら 那珂川町の町道 情報掲載日 2005/12/31(土)

馬頭温泉郷を通る町道小砂一矢倉線で、沿道の岩盤から染み出たわき水が無数のつららを作り、通り掛かった観光客らを楽しませている。例年一月に入ってから凍り始めるが、寒さの厳しい今年は十二月に入ってからつららができ始めたという。沿道約百メートルにわたり、高さ約七メートルほどの岩盤から無数のつららが下がり、さながら氷の芸術。太さ十センチ、長さ一・五メートルを越す巨大つららもある [下野新聞2005年12月29日]。(し)

豊かな湧水 植生守ろう 新座の妙音沢緑地 一斉に清掃 情報掲載日 2005/12/31(土)

新座市に広がる斜面林「妙音沢緑地」でこのほど、市民、企業、行政が一体となって、昨年続き二回目の「クリーンアップ作戦」が行われた。黒目川右岸に広がる約三万三千平方メートルの同緑地は昨年二月、都市緑地保全法に基づき「妙音沢特別緑地保全地区」として都市計画決定され、豊富な湧水のほか、植物が自生し、東京近郊で貴重な生態系を形成している。清掃に参加したのは、一般市民のほか、町内会の代表や市グリーンサポーター、緑の保全巡視員ら、ボランティア計百四人。約二時間半の作業で可燃ごみ千百キロと不燃ごみ千五百キロを回収。同市みどり公園課によると、きれいになった緑地は、緑の保全巡視員や市民が保全活動を続け、春にはカタクリやイチリンソウが花を咲かせるという [埼玉新聞 2005年12月24日]。(し)

柏崎の地下水で化学物質検出 情報掲載日 2005/12/31(土)

新潟県と柏崎市は29日、同市北斗町の地下水から工業用洗浄剤に含まれる化学物質「1-ブロモプロパン」と、その分解物とみられる「1・1-チオビス-プロパン」が検出されたと発表した。周辺地域で飲用水用の井戸は確認されていないが、県などは北斗町や付近の約5000世帯に井戸水の飲用停止を呼び掛けている [新潟日報 12月30日]。(し)

上越市に地盤沈下注意報 情報掲載日 2005/12/31(土)

師走寒波による大雪の影響で、消雪パイプ用地下水の揚水量が急増し、地下水位が大幅に低下したとして新潟県は24日、上越市の市街地区域を対象に地盤沈下注意報を発令した。1日から24日までに、同市栄町の城北中に設置されている観測用井戸の水位が6・68メートル、高田公園が6・08メートル低下、それぞれ発令基準値を超え、地盤沈下は高田公園で2・10センチ観測された。12月中の注意報発令は1985年の観測以来初めてだという[新潟日報 12月24日]。(し)

湧水等利用ガイドブックを作成 情報掲載日 2005/12/31(土)

愛知県環境部水環境課地盤環境室では、湧水等について、地下水・地盤環境の保全を図りながら、貴重な水源としての有用性にも着目し都市の汚濁河川の浄化、公園のせせらぎ等地域環境の改善を図るための用水としての利用事例を中心に「湧水等利用ガイドブック」を7月に作成したそうです。

このガイドブックは、7月6日(水)より愛知県環境部水環境課地盤環境室及び中央県民生活プラザにて、また以下のHPでも見ることができます。(し)

<http://kankyojoho.pref.aichi.jp/Download/DownloadInput.aspx>

「鳥取県名水地図」が完成 情報掲載日 2005/12/26(月)

鳥取県内で「名水」を見つけ出そうと、十倉毅(とくら・つよし)・鳥取環境大教授(63)の研究室が取り組んでいた「鳥取県名水地図」が完成した。参考にしたのは兵庫県宍粟(しろう)市一宮町の名水地図で、「県内の名水、探しています」との呼びかけにより研究室に寄せられた情報を元にして、手分けして県内を飛び回り水質調査を重ねた。

名水地図は1月から、県立図書館などで展示する。十倉教授によると「費用はかかるが精密調査を重ねて、より完成に近づきたい」とのこと。

(2005年12月26日 朝日新聞：マイタウン鳥取) (みか)

16年度の地下水水質測定結果概要を公表 情報掲載日 2005/12/25(日)

環境省は平成17年12月20日付けで、16年度に国と地方公共団体が実施した全国の地下水水質測定結果概要を公表した。調査を実施した井戸4,955本のうち、環境基準を超過した項目が1項目以上あった井戸は、全体の7.8%(15年度:8.2%)にあたる387本。

環境基準を超過している項目はテトラクロロエチレン、トリクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、四塩化炭素、1,1-ジクロロエチレン、1,1,2-トリクロロエタンの揮発性有機化合物6物質、砒素、ふっ素、鉛、ホウ素、総水銀、セレンの重金属6物質、および硝酸

性窒素・亜硝酸性窒素計13物質。これ以外の13物質についての基準超過はなし。項目別の超過率としては、硝酸性窒素・亜硝酸性窒素が5.5%と最も高かった。EICネット
2005.12.20 (きゅう)

富山県が節水を呼びかけ 情報掲載日 2005/12/21(水)

冬本番となりましたが、道路や駐車場などの消雪用地下水の汲み上げが過去10年で1.6倍に増えたと富山県が発表しました。地盤沈下を引き起こす原因ともなるため、県が散水しすぎないように節水を呼びかけている。

12月14日中日新聞 富山 (しん)

岡山市のガソリンスタンドで地下水汚染 情報掲載日 2005/12/17(土)

岡山市問屋町のガソリンスタンド「新日本石油セルフタイヤマチ店」の敷地の地下水から、環境基準値(0.01mg/L)の最大98倍にあたるベンゼンが検出された。ガソリンをためる地下タンクと計量器をつなぐ配管に、直径数ミリの穴(1カ所)が開き、ガソリンが漏れたらしい。新日本石油中国支店によると、原因は「配管の腐食」とのこと、今後、市と協議して地下水を浄化するほか、周辺の井戸などへ影響がないか調べるとのこと。(2005年12月16日 朝日新聞:マイタウン岡山) (みか)

大分市で温泉掘削中に天然ガス噴出 情報掲載日 2005/12/14(水)

大分市の病院敷地で、温泉掘削のためボーリング中の穴から天然ガスが噴出し、火柱が上がった。

火柱が上がったのは12日朝。火は同日夕には消えたものの、依然ガスの噴出は続いており、13日の作業には約30人の人員と消防車7台が投入された。同市消防局などがガスの噴出を止めるため、穴に水を注入する作業を続けた。今後、泥水に切り替える。

今年2月には東京都でも同様の事故が起きており、都では500メートル以上の掘削にはこの器具を必ず付けるよう条例で定めている。(きゅう)

(2005年12月14日 読売新聞)

一関市東山で磐井清水「若水送り」 情報掲載日 2005/12/08(木)

一関市東山町の磐井清水「若水送り」実行委員会は十八年正月に行う開催日程などを決めた。来年は新一関市誕生後初めてとなり、約百五十人が参加し新年最初にくんだ水を平泉町中尊寺に届ける。若水送りは、元朝に磐井清水から水をくみ、樽(たる)に詰めて松川から平泉までの約二

十キロを徒歩で届けるもの。平泉町の柳之御所跡で行列を整え、月見坂を上り、中尊寺本堂で新年最初にくんだ水を同寺関係者に手渡す。参加者たちは金色堂を参拝して新年の幸福や家内安全などを祈願する。(し) 岩手 日々新聞 12月8日

真木ダム代替案 玉川単 独と玉川、地下水の組み合わせを提示 情報掲載日 2005/12/08(木)

秋田県が大仙市太田町の齊内川 に計画していた「真木ダム」建設中止に伴う代替案を検討する会議が開かれ、県側から水道水源の代替案が示された。水源について「齊内川」からの取水は夏場の渇水期になると水が流れないなど安定した水量が確保できないことから水源の対象から除外し、玉川単独と玉川と地下水の組み合わせの2つの案を水源とすることを素案にしたいと提示した。(し) 秋田県南日々新聞 11月29日

工場地下水から汚染物質 情報掲載日 2005/12/08(木)

新潟県胎内市水沢町の「水 沢化学工業中条工場」の地下水から基準を大幅に超える有害化学物質のダイオキシン類、トリクロロベンゼンが検出されたことがを県が公表した。県は周辺住民に井戸水などを飲まないよう、胎内市を通して要請した。トリクロロベンゼンは、世界保健機関(WHO)の「飲料水水質ガイドライン」で示されている物質。(し) 新潟日報 12月02日

名水の里を走るマラソン大会 情報掲載日 2005/12/08(木)

地方紙(下野新聞)を見ていて、第26回しおや湧水の里マラソン大会 というのを発見しました。『名水の里を走ろう(環境庁名水100選/尚仁沢湧水)』の塩谷町を走ろうというもので、開催日は2005年12月11日(日曜日)。参加の締め切りは過ぎてしまいましたが、26回ということですのでアクティブなイベントのようで応援したいものです。詳しくは[栃木県塩谷町ホームページ](#)などで閲覧できます。(し)

ロシア・ハバロフスク地方で飲用水源を地下水へ切り替える方針 情報掲載日 2005/12/05(月)

中国東北部の松花江に有毒物質が流出した問題で、その下流のアムール川から飲用水を取水するロシア極東ハバロフスク地方の議会は、将来的に取水源を同川から地下水に切り替える対策事業を検討しています。(共同通信) (の)

致死量を超えるシアン地下水汚染が明らかになる。 情報掲載日 2005/12/05(月)

読売新聞(12月1日)は、三重県鈴鹿市の自動車部品製造工場の敷地内で極めて高濃度のシアンによる地下水、土壌汚染が明らかになったことを報道している。地下水の最高濃度は350mg/lで致

死量を超える濃度である。 (て)

温暖化抑制のためCO₂削減量の15～55%を地中封じ込めで対応可能 情報掲載日

2005/12/01(木)

二酸化炭素（CO₂）を地中に封じ込める手法は温暖化対策で大きな役割を果たしうるとする報告書を、「気候変動に関する政府間パネル（IPCC）」がまとめた。

この手法は地中貯留技術と呼ばれ、火力発電所などから排出されるCO₂を回収し、地下約1キロの深さに注入するものだ。すでにカナダやノルウェーなどで大規模な事業が行われており、国内では地球環境産業技術研究機構が新潟県長岡市で実証試験を進めている。

(2005年11月30日21時1分 読売新聞) (きゅう)

「小盆地宇宙 亀岡の名水」が完成 情報掲載日 2005/11/27(日)

京都府亀岡盆地の名水スポットを紹介した冊子「小盆地宇宙 亀岡の名水」が、カップ研究会や市民ボランティアなどにより編集され完成したそうです。出雲大神宮の「真名井の水」など50カ所が紹介されています。 (しん)

土中に埋めた有機塩素系農薬による地下水、土壌汚染が明らかに 情報掲載日 2005/11/24(木)

朝日新聞は11月24日、70年代に使用禁止になり国の指導により土中に埋められた有機塩素系農薬が、現在、31道府県中、12道府県で地下水や土壌に影響を及ぼしているという調査結果を報道しています。 (て)

新宿御苑に「玉川上水」復活へ、環境省と区がスクラム 情報掲載日 2005/11/24(木)

新宿御苑（東京・新宿）に玉川上水の清流を復活させるプロジェクトに環境省と新宿区が乗り出す。

どこから水を引いて、どんなデザインにするのかなど、住民や学識経験者を交えた検討会を来月設置し、具体的な計画を練る。御苑は来年開苑100周年を迎えるが、その緑は、都心のヒートアイランド対策でも期待されている。プロジェクトは、緑と水をつなぎ潤いの空間作りを目指すという。

復活が計画されているのは、御苑北側の約1キロの散策路。水番所があり、江戸市中への給水起点だった四谷大木戸のあった場所だ。

玉川上水は1653～54年、江戸の水不足を解消するため、玉川庄右衛門、清右衛門兄弟が開削した。羽村市の多摩川取水口から四谷大木戸までの約43キロに及ぶ。江戸時代の浮世絵には、上

水の土手が桜並木になっていた現在の御苑周辺の風景が描かれている。

1965年に西新宿にあった淀橋浄水場が移転。上水は都心に飲み水を運ぶ役割を終え、都水道局小平監視所より下流に多摩川の水が流れなくなった。

昨年夏、小池環境相と中山弘子・新宿区長が対談し、上水復活で意気投合。内閣府の都市再生モデル調査に選ばれ具体化した。

(読売新聞) (し)

[和歌山県の病院建て替え現場で地下水、土壌汚染](#) 情報掲載日 2005/11/15(火)

和歌山県の地元紙「紀伊民報」は、病院建て替え工事の現場土壌から、基準を超える水銀、鉛が検出されたことを伝えています。基準値の超過はわずかですが、周辺の住民に井戸水の飲用を控えるように呼びかけています。(て)

[秋吉台地下水系などがラムサール条約に正式登録](#) 情報掲載日 2005/11/12(土)

11月8日、山口県に位置する秋吉台の地下水系や、島根・鳥取両県に位置する中海・宍道湖がラムサール条約へ正式に登録されました。2005年は秋吉台国定公園が指定されて50年の記念すべき年。国立公園として地下水を保全すると共に、世界的に貴重な自然として人間がその自然を故意に破壊することのないよう、大切さを伝承していってほしいと思います。

[秋吉台科学博物館](#)のHPはこちらです。(しん)

<http://www.ymg.urban.ne.jp/home/akihaku/>

[中国で深刻な地下水汚染](#) 情報掲載日 2005/10/30(日)

新華社電からの情報です(共同)。中国水利省の技術部門責任者は2005年10月25日、全国の地下水の約25%が汚染され、都市部の約5割で地下水汚染が極めて深刻な状況にあると発表しました。工業廃水の3分の1、生活排水の3分の2が未処理のまま垂れ流されているということです。水資源としての地下水が枯渇の危機に貧しているようです。(しん)

[魚津の休耕田で地下水涵養実験がスタート](#) 情報掲載日 2005/10/23(日)

富山県魚津市の休耕田で地下水涵養実験がスタートしたそうです。

魚津では水田の減少や消雪用地下水の汲み上げによって地下水位が低下しており、その対策として、国と富山県、魚津市が合同で14アールの休耕田を使った地下水涵養による地下水保全の可能性を探る実験を始めました。今年度内にマニュアルをまとめる予定とのこと。国・県・市の3者が連携する実験は全国初との情報。

中日新聞の記事から。(しん)

ブラジル サンパウロでも地下水汚染? 情報掲載日 2005/10/09(日)

ブラジル サンパウロ市衛生局は10月3日、複数の企業が所有する掘り抜き井戸14本の用水を禁止処分としました。環境浄化技術公社の検査結果により、発ガン性物質の含有が確認されたとのこと。なお当局は8月にも掘り抜き井戸10本を用水禁止処分にしており、サンパウロでも地下水汚染が拡大しつつあるようです。(しん)

EICネットで地下水汚染のQ&Aが展開中 情報掲載日 2005/09/27(火)

EICネットにおいて9月18日「地下55mの地下水汚染はどれくらい拡散しますか」という質問が掲載され、そのQ&Aが展開されています。土壌の分析法(環告46または18)と廃棄物の分析方法(環告13)の相違点についても意見が述べられています。興味のある方はご覧下さい。(しん)

富山大学で廃棄薬品による土壌汚染が見つかる 情報掲載日 2005/09/16(金)

富山大学では、校舎の改築中に土中に埋められた廃棄薬品が見つかり、シアン、水銀が土壌環境基準を超えていた。詳しくは、富山新聞社の2005年9月16日の記事(URL)をご覧ください。(て)

水環境総合情報サイト 情報掲載日 2005/09/12(月)

環境省のホームページに、水環境に関する情報を総合的に提供するサイトがオープンしたそうです。名水百選のページもあります。是非アクセスしてみてください。(しん)

環境省がHP新着情報をメール配信 情報掲載日 2005/09/02(金)

環境省が、HPの新着情報をメールにて配信するサービスを開始しました。詳しくは<http://www.env.go.jp/webnews/>にアクセスしてご確認ください。

2004年の濃尾平野の地盤沈下と地下水位 情報掲載日 2005/08/31(水)

東海三県地盤沈下調査会は、濃尾平野の2004年の地盤沈下状況を発表した。年間1cm以上沈下を示した水準点は27点で、年間1cm以上の沈下域は9km²でみられた。地下水位は第一礫層(G1層)では全体の約6割の地点で地下水位が03年に比べ低下し、第二、第三礫層は一部を除き概ね03年に比べ上昇していて、平野全体の経年変化は横ばいまたは上昇しているとのこと。(建設通信新聞 2005年8月31日による) (五)

[中国の高速道路沿いの深刻な土壤汚染](#) 情報掲載日 2005/08/24(水)

中国情報のインターネットサイト「上海エキスポア」が、中国の長江デルタ地帯を通る高速道路沿いの深刻な鉛による土壤汚染の現状を伝えています。周辺で栽培する野菜への影響が現れているみたいですが、地下水汚染は大丈夫でしょうか？（て）

[環境省が「土壤汚染とリスクコミュニケーション」セミナーを室蘭で開催](#) 情報掲載日

2005/08/23(火)

環境省と（財）日本環境協会が主催するセミナー「土壤汚染とリスクコミュニケーション」は来月9月16日北海道室蘭市 市民会館ホールで開催されます。主催者以外にも、三菱信託銀行、鹿島建設、応用地質や、北海道環境生活部の方々も講演を行う予定とのこと。詳しくは環境省のHPをご覧ください。参加締切は9月5日（必着）だそうです。定員500名、参加費無料。

（しん）

[東京都、土壤汚染物質の迅速、簡易な分析技術を公募](#) 情報掲載日2005/08/19 情報掲載日

2005/08/19(金)

土壤汚染対策では、汚染物質の分析や汚染された土壤の処理等の対策費用が一般に高額なことから、低廉な対策技術の普及が求められています。汚染物質の分析費用の低減化、調査期間の短縮化を目指し、実用段階にある土壤中の重金属等の簡易で迅速な分析技術（簡易分析法）の公募を東京都が行っています。詳しくは、東京都のホームページをご覧ください。。（て）

[幌延地圏環境研で牛舎内を冷房する実証研究](#) 情報掲載日 2005/08/10(水)

幌延町にある幌延地圏環境研では、自噴した地下水を活用する牛舎内の冷房実証研究を進めているとのこと。試験では、天井に設置したパイプから地下水をファンコイルユニットという機械に供給。ファンコイルユニットの中を流れた空気が地下水で冷やされて牛舎内に送られる。外気温28℃の環境下の実験では、水温約7℃の地下水で、牛舎内が24℃に保たれたという。地下水という低い熱エネルギーを活用したエコ冷房の事例ですね。ヒートアイランドの改善にも役立たないものではないでしょうか？（しん）

[大垣市内で「打ち水作戦」](#) 情報掲載日 2005/07/29(金)

大垣市内では、涌出する地下水を道にまく「打ち水作戦」が「国道258号線活性化事業協議会」開催で7月25日朝、開かれたそうです。8月25日午後には本格的な「水都・大垣打ち水作戦」

を実施する予定とのこと。今回は「予行演習」だったようですが、果たして効果のほどは、いかがだったのでしょうか？（しん）

東京の地盤沈下は安定状態続く 情報掲載日 2005/07/28(木)

東京都建設局がまとめた「地盤沈下調査（2004年分）」によると、都内で1cm以上沈下した地域は、荒川区、江東区、江戸川区、渋谷区の4箇所でこのうち最大沈下量は1.46cmとのこと。地下水位は42の観測地点の内、23地点で低下、19地点で上昇。過去10年間で2cm以上沈下した地域はなく安定し、地下水位も、規制などで上昇傾向であったがここ数年は頭うちとのこと。（日刊建設工業新聞 2005年7月28日）（五）

8月1～7日は「水の週間」 情報掲載日 2005/07/25(月)

国交省は昭和52年から8月1日を「水の日」、8月1～7日を「水の週間」として各種イベント等を開催しています。今年平成17年度は29回目の「水の週間」。関連行事は「日本の水資源」HPでご紹介されていますので是非ご覧ください。（しん）

福井県大野市で地下水涵養事業 情報掲載日 2005/07/22(金)

福井県大野市には、環境省の名水百選に選ばれた「御清水（おしょうず）」がある名水の街。しかし近年、地下水位が低下してしまっただ。そこで、人工池から水を地下浸透させる事業に着手するという。今年冬には人工涵養池に水を張る予定で、3年を目処に効果を検証する。人工涵養事業は、2001年地下水学会秋季講演会が行われた秋田県美郷町（旧六郷町）の事例がある。（しん）

政令指定都市と東京23区の下水道が「打ち水大作戦2005」に協力 情報掲載日

2005/07/14(木)

「打ち水大作戦2005」は、お風呂の残り湯や雨水などを使い、地域ぐるみで人手によって打ち水をする、ヒートアイランド対策のイベント。政令指定都市と東京23区などが協力すること。地下水を使った地球温暖化防止作戦に皆で参加したいですね。（しん）

地下水による打ち水 情報掲載日 2005/06/26(日)

国土交通省はヒートアイランド対策として国会議事堂周辺で道路に保水性舗装を施し、地下水による打ち水を行うそうです。その効果は未知数ですが、地下水が身近な環境資源であることを市民に理解していただくためには絶好の機会だと思います（ま）。

水田と地下水の関係 情報掲載日 2005/06/24(金)

水田に水を張ることによる地下水涵養機能が見直されているようです。熊本では6月19日「お米をつくって水をまなぶ」という親子イベントが開催されました。市は水田に水を張る農家に助成金を出しているそうです。

青森では、周辺の水田に田植えのため張った水が急激な地下水位上昇を発生させ、これが主な原因と思われるトンネル工事現場の崩落事故が発生しました。

地下水という自然の力に驚かされます。(しん)

秋吉台地下水系がラムサール条約に 情報掲載日 2005/06/17(金)

山口県内で有名な秋吉台。この地下水系がラムサール条約に登録される見通しになったそうです。環境省が申請を決めました。国内のラムサール条約登録地として、地下水系は初めてとなる見込み。秋吉台は国定公園で、鍾乳洞、ドリーネ、湧水などがあり、面積は約560ヘクタール。今後、観光誘致と環境保全活動の両立等が重要視されそうです。(しん)

中国の地下水汚染 情報掲載日 2005/06/13(月)

中国政府は2005年6月7日、中国の660都市の約80%にあたる511都市が水不足になっており、そのうち110都市は特に深刻であると発表しました。汚水処理施設の建設の遅れで水質汚染も拡大していると警告しています。内陸部の急速な砂漠化、湖沼の約75%で富栄養化が進行、地下水汚染の深刻化など、水問題は中国にとって国家的な課題に浮上しているようです。(しん)

韓国では地下水開発利用者に利用負担金 情報掲載日 2005/06/06(月)

韓国では今後、一定以上の地下水利用に対して地下水利用負担金を納める義務が生じる。今年12月から地下水保全や管理制度が強化され、農漁業用を除いて1トン当たり65ウォン以下の負担金を市・郡・区に納める。(しん)

温泉は「加水」「循環」を表示義務付け 情報掲載日 2005/05/24(火)

昔、温泉が水道水の沸かし湯だった疑惑などで色々と話題となりましたが、このたび温泉法の改正施行規則が24日施行されたようです。「加水」「循環」の表示など4項目の表示を新たに義務づけました。(しん)

岐阜市「水によるまちおこしボランティア調査隊」募集中 情報掲載日 2005/05/19(木)

岐阜市は「水によるまちおこしボランティア調査隊」のメンバーを募集しています。水に焦点をあ

てた地図「水の都市ぎふマップ」(仮称)を市民の方と一緒に作る活動です。活動は7～9月、集人員は20人程度、応募は6月20日まで。詳しくは岐阜市まで。(しん)

上海で地盤沈下が深刻化 情報掲載日 2005/05/09(月)

フジサンケイビジネスアイ(2005年5月9日)に、上海紙「新聞晨报」が「上海市内には16階以上の高層ビルが4000余りもあり高層ビル数では2004年末に世界一を記録。しかし、地盤沈下も深刻化し、大きいところで毎年30ミリ～60ミリ沈下しており、このまま地下水の過度の汲み上げや高層ビルの建築が続くとさらに深刻化するため、市政府は条例改正し高層ビルの建築制限や地下水の汲み上げ量にも規制を設ける等の対策に追われている」ことが掲載されていました。(五)

お鷹の道湧水群 情報掲載日 2005/05/03(火)

お鷹の道湧水群は、広報 東京都713号(2005年5月1日発行)の7ページ「東京いちにち散歩」のコーナーで、また、旅行読売 2005年6月号(旅行読売出版者発行)「関東・関西周辺 初夏のさわやか名水めぐり」のコーナー(133ページ)で紹介されています。当学会でも5月29日にお鷹の道湧水群などを巡るイベントを計画しておりますので是非ご参加ください。(しん)

2005 土壌地下水浄化技術展 情報掲載日 2005/04/11(月)

2005年8月31日～9月2日 東京ビッグサイトにおいて2005土壌地下水浄化技術展が開催されます。詳しい情報はHPにてご覧ください。(しん)

丹沢・名水シンポジウム 情報掲載日 2005/04/07(木)

神奈川県秦野市制50周年記念の事業として名水シンポジウムやウオーキングが開催されます。どちらも参加費は無料です。(の)

(1) 名水ウオ-キング

秦野駅南口(名水看板前) 4月29日(金) 9時30分集合
秦野市文化会館まで歩く
先着 約50名(4月1日から受付開始)

(2) シンポジウム

4月29日(金) 13時～16時



秦野市文化会館

基調講演：今井通子氏（登山家、医師）

その後、パネルディスカッション

お問い合わせ：秦野市環境保全課（小泉）

Tel 0463-82-5111（内線2355）

野川の源流を見に行こう!4月10日（日） 情報掲載日 2005/04/07(木)

国分寺市から武蔵野市にかけては崖下にたくさんの湧き水があります。この地域を流れる野川の源流のひとつも湧き水で、これは日立中央研究所内にあります。通常は立ち入りできませんが年に2回の庭園公開日にはこの湧き水を見ることができます。桜も咲いていい季節です。お出かけになっ
てはいかがですか。詳しくは日立中央研究所のHPをご覧ください（の）

日本の地下水位に、スマトラ島沖地震が影響した 情報掲載日 2005/02/25(金)

昨年12月のスマトラ島地震の直後、日本の井戸や温泉源泉で地下水の水位が変化したそうです（読売新聞2月21日による）。水位の変化は震源から約5000Km (!!離れた兵庫県安富町の井戸で最大5m。このほか松山市の道後温泉や神奈川県でも水位の変化が観測されました。地震のエネルギーはすざましいですね。詳しくはリンク先をどうぞ。（の）

地下水は誰のものか 情報掲載日 2005/02/15(火)

12/11掲載内容に関係する記事が朝日新聞(1/22 be Report)に出ていました。「地下水の公的管理」についてです。水道の大口料金が割高なため大手企業が独自に井戸を掘削し地下水を利用、その結果公営水道事業者の減収を招いているという内容です。両者の立場・考えは相容れず、これからも多くの議論が必要そうです。地盤沈下の心配もありますが科学的根拠に基づいて利用し、資源としての地下水を意識し続けることも重要という考えもあります。環境省は近く、大阪市を中心とした地域をモデルとして、地域の目的にあった使い方をするための調査を始めるとのことです。

（し&よ）

中国の地下水事情 情報掲載日 2005/02/11(金)

天津日報が中国各地の水資源調査の結果を報じたことが、フジサンケイビジネスアイに掲載されていました。それによると「中国の地下水の貯蔵量は9235億立方メートルで、このうち採取可能な水資

源貯蔵量は3527億立方メートル」とのことでした。記事では、これに関連して「中国では近年水不足で都市部での水の大量消費もその原因の一つであり、地下水資源も過度に採取されていて地下水総面積が縮小していること」も伝えています。（引用：『エコウィズ』2005年2月11日）地下水を含めた水資源、大切にしたいですね。（五）

ロシア・ハバロフスク地方で飲用水源を地下水へ切り替える方針 情報掲載日 2005/01/17(月) 1/22, NHKの「地球だい好き」というテレビ番組で地下水を守る取組みが紹介されます。おもしろそうですよ。詳しくは番組HPを見てください。（の）

放送日1/22, NHK総合11:00～11:29. 放送日（関西・九州・沖縄）1/30, 総合16:30-16:59

宮古農林高校に水のノーベル賞（続報） 情報掲載日 2005/01/07(金)

宮古農林高校が「水のノーベル賞」を受賞したことが、National Groundwater Association（NGWA：全米地下水協会 会員数15000人以上）が出版している雑誌

（Monitoring&Remediation Vol.24 No.4）でも紹介されていました。この記事では、「日本の高校生が開発したこの手法は、全世界の多くの場所で適用することができる」と書かれていました。うれしいですね。我々もがんばらなくっちゃ。（ま）

新潟中越地震：消雪パイプ間に合った 情報掲載日 2004/12/14(火)

新潟県中越地震で、破断するなどしていた「消雪パイプ」の修復・改修が進み、ほとんどの自治体で年内には利用可能な状態にまで復旧していることが分かった（引用：毎日新聞2004年12月7日）。消雪パイプは、冬でも暖かい地下水を道路埋めたパイプを通じて散水して雪を溶かす装置です。雪が降る前に修復できそうでよかったです。（の）

宮古農林高校に水のノーベル賞 情報掲載日 2004/12/12(日)

宮古島には川がなく、飲み水の全てを地下水に依存しています。この大切な地下水を化学肥料由来の硝酸性窒素汚染から守るため、沖縄県宮古農林高校では平成8年度より継続して、宮古島の土壌より分離・選抜した土壌微生物を活用した有機肥料の研究と普及活動を行って来ます。この活動が評価され、「水のノーベル賞」と呼ばれる「ストックホルム・ウォーター賞」青少年部門が贈られました。宮古農林高校の活動は、2002年10月に宮古島で開催された日本地下水学会秋季講演会でも発表されています。（記事掲載2004年8月20日沖縄タイムス朝刊）ま

割高な大口水道料金に引導～地下水の利用広がる～ 情報掲載日 2004/12/11(土)

この数年、都市周辺部において大口水利用者が地下水を利用しだした。病院、大学、マンションなどでは、割高な水道料金を削減するため地下水の利用をはじめた。都市および周辺では、地下水利用が規制されており、規制の範囲内で利用しているが地盤沈下などの地下水障害が懸念されるので適切な地下水管理が必要であると思われる。（引用：日本経済新聞2004年9月5日） 敏

「幻の池」 上九一色村に6年ぶり出現 情報掲載日 2004/12/11(土)

上九一色村の精進湖近くに、「幻の池」と呼ばれる赤池が姿を現したそうです。これは台風22号が接近した10月14日午後東西約40メートル、南北20メートルに広がっているもので、現在では透き通った水面に周囲の山々の美しい稜線を映しているそうです。（記事掲載2004年10月15日 読売新聞東京朝刊）

お米から有機ヒ素化合物を検出 情報掲載日 2004/10/16(土)

地下水汚染が問題となっている地域の農家が収穫したお米から、有機ヒ素化合物を検出したそうです。濃度は極めて少なく、出荷されていないとのこと（新聞記事掲載2004年9月17日）。農家の井戸からも1割程度の井戸水でヒ素を検出しました。食の安全が叫ばれている時代ですが、日本文化の象徴であるお米にも地下水汚染が広がりつつありそうです。
